

コロナ禍の折、学内でお会いする機会が減っておりますが、教育ボランティアの皆様におかれましてはおかわりありませんでしょうか。「教育ボランティアニュースレター」の第27号ができましたので、お届けいたします。

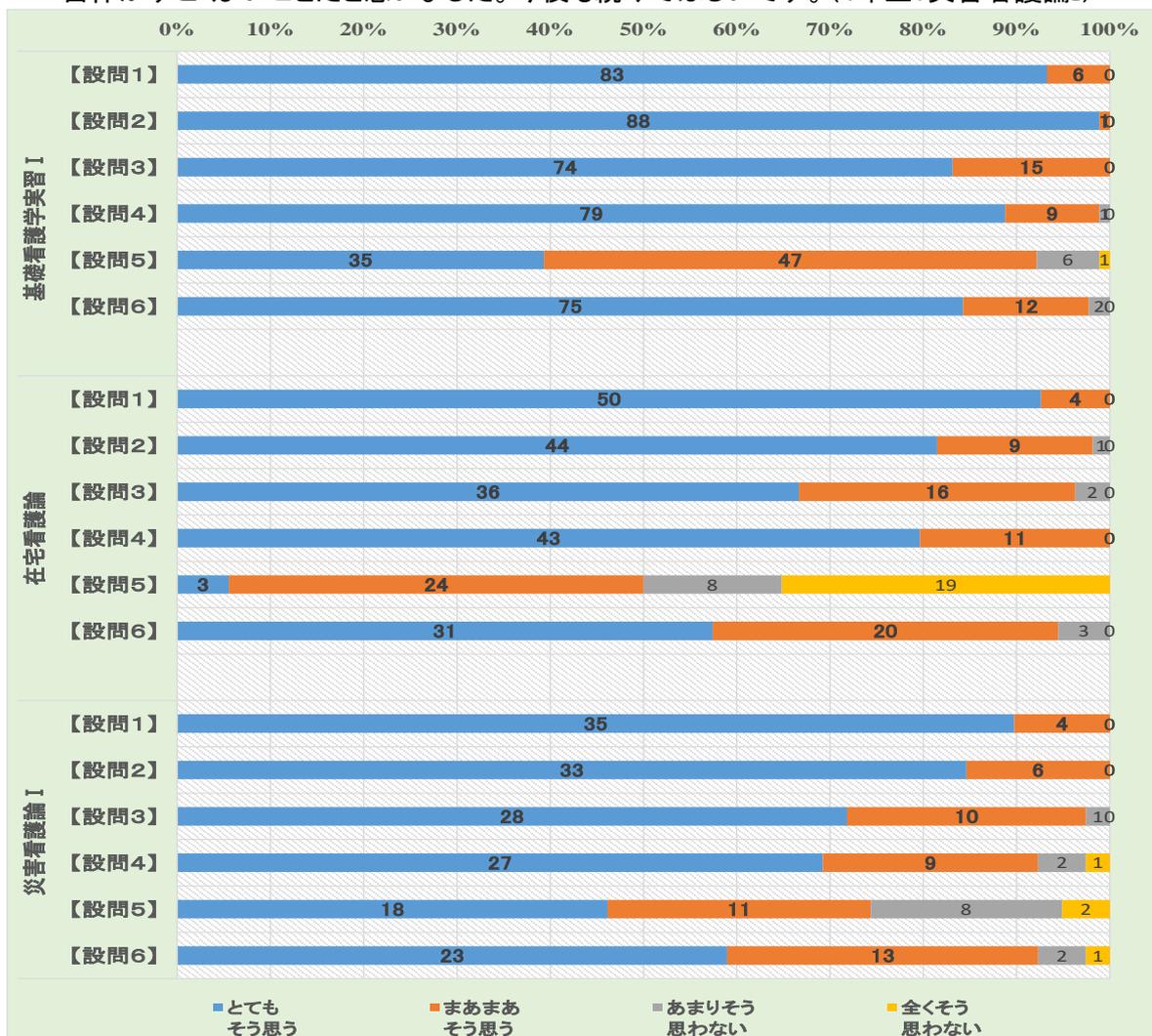
# 教育ボランティアニュースレター 第27号

発行月 2021年10月

## 「コラボ教育学生アンケート」を始めました

2021年6月から、「コラボ教育学生評価アンケート」を学生に回答してもらっています。これは、2019年に教育ボランティアの方をお招きして行ったグループインタビューの結果から、「自分たちのかかわりが学生の役に立っているのか尋ねたい」というご要望にお応えするために始めたものです。教育ボランティアの方へ学生が直接お会いしてどんな学びができたかお伝えできればいいのですが、コロナ禍でそれも難しいのでアンケートにしました。これまでに教育ボランティアの方にご参加いただいた、「基礎看護学実習I」「在宅看護論」「災害看護学I」の結果を下記グラフでご紹介します。オンライン授業の中で教育ボランティアの方々と学ぶことが、学生たちへの励ましにもなったようです。学生の自由記載の一部をご紹介します。

- オンライン授業が続いていて、一人暮らしでしばらくの間人と交流できていなかったけれど、コミュニケーションの大切さや楽しさを理解する事ができたし改めて人と関わるのっていいなと強く思いました。(1年生:基礎看護学実習I)
- 実際介護を経験されたボランティアさんの話を聞くことで、自分が考えていたことはケアとして重要性があったり、逆にもう少し工夫したらいいケアにつながるんだと考えることができました！(3年生:在宅看護論)
- 阪神淡路大震災以外のことを話すこともありましたが、高齢者の方と話すという機会が貴重で、話すことができること自体がすごくよいことだと思いました。今後も続けてほしいです。(4年生:災害看護論I)



【設問1】教育ボランティアさんが授業に参加されることで、いつもよりことば使いや態度に気を付けましたか

【設問2】教育ボランティアさんが授業に参加されることで、いつもより良い意味で緊張して授業に臨めましたか

【設問3】教育ボランティアさんが授業に参加されることで、地域で生活する人々の理解がより深まりましたか

【設問4】教育ボランティアさんが授業に参加されることで、看護を提供する人々をケアする際に心がけることについての理解が深まりましたか

【設問5】教育ボランティアさんが授業に参加されることで、大学や自宅近隣における地域のイベントに参加してみようという気持ちが膨らみましたか

【設問6】教育ボランティアさんの講演や意見、感想によって、看護職を目指すモチベーションがあがりましたか

☆ 2021年度教育ボランティアさんと教員の交流会は、**2022年3月2日(水)午後**を予定しております。コロナウイルス感染症の状況をみて後日ご案内をいたします。どうぞよろしくお願いたします。